

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	東京工業大学	整理番号	J - 1
拠点のプログラム名称	大規模知識資源の体系化と活用基盤構築		
中核となる専攻等名	情報理工学研究科計算工学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 古井 貞熙 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>21世紀は知識資源の時代と言われており、あらゆる分野の研究・教育・生活において、大規模知識資源の構築と活用が不可欠になる。これまでに種々の個別知識データが構築されてきたが、個人、研究機関、研究分野に分散しており、統一された概念のもとで開発されていないため、管理・拡張・活用が容易でない。本研究拠点では、大規模知識資源の標準的な体系化、構造化と、活用技術を含む知識の構築を実現する。具体的な知識資源としては、話し言葉、自然言語、遠隔教育資源、古典文献、歴史文書、マルチメディア教材などを対象とし、大規模知識資源の構築技術、検索技術、データマイニング技術、ネットワーク技術、並列計算技術などを研究する。これにより、誰でも容易に知識資源を構築し、体系的に活用することが可能になり、既存学術の一層の発展と新しい学術の開拓が可能になる。これらの研究を通じて、知識資源の体系化と活用に関する知識を身につけた、若手知識資源研究者を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>本拠点は情報、認知、言語、文化財、教育等の学際的な構成員からなり、総じて優れた実績を有しているが、とくに拠点リーダーの卓越した構想力とリーダーシップは高く評価できる。目標とする研究開発は、様々な学問分野発展の基盤となるものであり、その実現が切望される。また、その研究教育計画は着実に説得力に富み、この分野の世界的な拠点となることが期待できる。</p>			